

都小道 研修部 授業研究取材記録

日 時 令和6年11月20日(水)
会 場 豊島区立清和小学校
授 業 者 三崎 智 教諭
主 題 名 自分の考えを相手に伝えるために B 相互理解、寛容
教 材 名 「ブランコ乗りとピエロ」(新編 新しい道徳 東京書籍)
講 師 世田谷区教育委員会 教育指導課教育支援員 橋本 ひろみ 先生



- ・導入では、「意見が違って困ったときはありますか?」という事前アンケートの結果を示し、児童に問題意識をもたせていました。
- ・範読では、大型モニターと BGM を活用して臨場感溢れる教材提示をしていました。また、教材を前半と後半の2回に分けて範読を行うことで、児童の興味や関心を引き出していました。
- ・展開では、ピエロとサムを児童から聞いていき、それを分かりやすく黒板にまとめていくことで、構造的な板書になっていました。
- ・中心発問では、「サムへの憎しみが消えたピエロは、自分の考えをどのように伝えたのだろうか?」という発問に対して、児童から「サムへの思いに共感した」や「お互いに理解するために自分の考えを伝えた」など、道徳的価値に関わる考えがたくさん出ていました。
- ・協議会では、都小道研の研究テーマである「非認知能力」の視点に沿った協議が行われました。
- ・講師の先生からは、道徳では教材の人物の生き様を考えるという特性から、範読を分けなくてもよいのではないかと、というお話や、道徳の授業に行き詰ったら、学習指導要領解説書に立ち戻ることが大切であるとお話がありました。